

令和3年度「水産海洋基礎」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	水産海洋基礎			教科名	水産（情報通信系列）
学年	1年	単位数	4単位（140時間）		

1 科目「水産海洋基礎」について

学習の到達目標	<p>(1) 水産業や海洋関連産業の国民生活における社会的意義ややくわりなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 水産業や海洋関連産業全体を広い視野で捉え課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 持続可能な水産業や海洋関連産業の構築を目指して自ら学び、地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
使用教科書	海文堂 水産海洋基礎

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
水産業や海洋関連産業の社会的意義や役割を理解し、水産業という観点から社会の発展に貢献しようとする態度を身につけている。	水産業界を広い視野で捉え問題を発見し合理的かつ創造的に解決する力を養い、自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	見学及び実験・実習などの体験的な学習活動を通して基礎的技術を身につけ、仕事を合理的に計画的に処理し、その成果を的確に表現発表できる。	水産業の歴史を理解し、水産業に関し、社会における意義や役割を理解し、関連する諸課題に対応する基礎的知識・技能を身につけている。
出席状況、提出物 平常の学習活動 学習態度、自己評価	ペーパーテスト 観察力	発表表現能力 文章表現能力	ペーパーテスト レポート内容

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1

